

採用医薬品情報（後発医薬品）（5月）

2019年5月31日（金）に開催された薬事委員会の答申に基づき、下記医薬品の採用が病院長より許可されましたのでお知らせ致します。

2. 個々の器官系用医薬品

25. 泌尿生殖器官及び肛門用薬

254. 避妊薬

2549. その他の避妊剤

薬剤名・剤型・規格・薬価	用法・用量	効能・効果・備考
レボノルゲストレル Levonorgestrel 後レボノルゲストレル錠 Levonorgestrel 錠：1.5 mg 1錠：薬価未記載 産婦人科試用 【貯法】遮光 （富士製薬） FJ74 [先発品] ノルレボ錠 1.5 mg錠	（内）性交後 72 時間以内に 1.5mg を 1 回 経口投与	緊急避妊剤 【効能・効果】 緊急避妊 【禁忌】 本剤の成分に対し過敏症、重篤な肝障害、妊婦 【妊婦・授乳婦】 妊婦：投与禁止。妊娠初期・中期の投与で女性胎児の外性器の男性化又は男性胎児の女性化。 授乳婦：投与後 24 時間は授乳中止

2. 個々の器官系用医薬品

26. 外皮用薬

264. 鎮痛，鎮痒，収斂，消炎剤

2649. その他の鎮痛，鎮痒，収斂，消炎剤

薬剤名・剤型・規格・薬価	用法・用量	効能・効果・備考
ケトプロフェン Ketoprofen 後ケトプロフェンテープ Ketoprofen テープ：40 mg/枚（10 cm×14 cm） 7枚入 1枚：16.8 凸 【貯法】遮光 （持田） BMD103 [先発品] モーラステープ L40 mg	（外）1日1回患部に貼付	経皮鎮痛消炎剤 【効能・効果】 ①次記疾患並びに症状の鎮痛・消炎：腰痛症（筋・筋膜性腰痛症，変形性脊椎症，椎間板症，腰椎捻挫），変形性関節症，肩関節周囲炎，腱・腱鞘炎，腱周囲炎，上腕骨上顆炎（テニス肘等），筋肉痛，外傷後の腫脹・疼痛。 ②関節リウマチにおける関節局所の鎮痛 【禁忌】 本剤又は本剤の成分に対して過敏症、アスピリン喘息（非ステロイド性消炎鎮痛剤等による喘息発作の誘発）又はその既往歴、チアプロフェン酸、スプロフェン、フェノフィブラート並びにオキシベンゾン及びオクトクリレンを含有する製品（サンスクリーン、香水等）に対して過敏症、光線過敏症、妊娠後期の女性 【重大な副作用】 ショック、アナフィラキシー、喘息発作の誘発（アスピリン喘息）、接触皮膚炎、光線過敏症 【妊婦・授乳婦】 妊婦（妊娠後期）：ケトプロフェンの外皮用剤を妊娠後期の女性に使用した場合、胎児動脈管収縮、使用禁止。妊婦（妊娠後期以外）・産婦・授乳婦：有益性と危険性より判断、安全性未確立。妊婦（妊娠中期）：ケトプロフェンの外皮用剤を妊娠中期の女性に使用し、羊水過少症。必要最小限の使用にとどめるなど慎重に使用

上記以外の薬品情報につきましては電子カルテの薬品情報検索または最新の添付文書をご参照ください。

以上

連絡先：薬剤科 DI 室（内線 4111）

各 位

薬剤科

採用医薬品情報 (後発医薬品) (4月)

2019年3月29日(金)に開催された薬事委員会の答申に基づき、下記医薬品の採用が病院長より許可されましたのでお知らせ致します。

4. 組織細胞機能用医薬品

42. 腫瘍用薬 429. その他の腫瘍用薬

4291. その他の抗悪性腫瘍用剤

薬剤名・剤型・規格・薬価	用法・用量	効能・効果・備考
<p>リツキシマブ (遺伝子組換え) Rituximab (genetical recombination) ④ リツキシマブBS点滴静注用 Rituximab BS 注：100mg-10mL/V 1V：22,553.00 (協和発酵キリン) 【貯法】遮光，禁凍結，冷所(2～8℃)</p> <p>リツキシマブBS点滴静注用 Rituximab BS 注：500mg-50mL/V 1V：110,498.00 (協和発酵キリン) 【貯法】遮光，禁凍結，冷所(2～8℃)</p>	<p>(注) 生理食塩液又は5%ブドウ糖注射液にて10倍に希釈調製。①1回量375mg/m²を1週間間隔で点滴静注。最大投与回数は8回。他の抗悪性腫瘍剤と併用する場合は、併用する抗悪性腫瘍剤の投与間隔に合わせて、1サイクルあたり1回投与。維持療法に用いる場合は、1回量375mg/m²を点滴静注。投与間隔は8週間を目安とし、最大投与回数は12回。②1回量375mg/m²を1週間間隔で点滴静注。最大投与回数は8回。③1回量375mg/m²を1週間間隔で4回点滴静注。</p> <p>心筋梗塞、心室細動、心原性ショック等)により、死亡に至った例が報告されている。これらの死亡例の多くは初回投与後24時間以内にみられている。また、本剤を再投与した時の初回投与後にも、これらの副作用があらわれるおそれがある。本剤投与中はバイタルサイン(血圧、脈拍、呼吸数等)のモニタリングや自覚症状の観察を行うとともに、投与後も患者の状態を十分観察すること。特に以下の患者については発現頻度が高く、かつ重篤化しやすいので注意すること。(1)血液中に大量の腫瘍細胞がある(25,000/μL以上)など腫瘍量の多い患者(2)脾腫を伴う患者(3)心機能、肺機能障害を有する患者3.腫瘍量の急激な減少に伴い、腎不全、高カルシウム血症、低カルシウム血症、高尿酸血症、高Al-P血症等の腫瘍崩壊症候群(tumor lysis syndrome)があらわれ、本症候群に起因した急性腎不全による死亡例及び透析が必要となった患者が先行バイオ医薬品において報告されている。血液中に大量の腫瘍細胞がある患者において、初回投与後12～24時間以内に高頻度に認められることから、急激に腫瘍量が減少した患者では、血清中電解質濃度及び腎機能検査を行うなど、患者の状態を十分観察すること。また、本剤を再投与した時の初回投与後にも、これらの副作用があらわれるおそれがある。4.B型肝炎ウイルスキャリアの患者で、先行バイオ医薬品の治療期間中又は治療終了後に、劇症肝炎又は肝炎の増悪、肝不全による死亡例が報告されている。5.皮膚粘膜眼症候群(Stevens-Johnson症候群)、中毒性表皮壊死融解症(Toxic Epidermal Necrolysis: TEN)等の皮膚粘膜症候群があらわれ、死亡に至った例が先行バイオ医薬品において報告されている。</p> <p>【禁忌】本剤の成分又はマウスタンパク質由来製品に対する重篤な過敏症又はアナフィラキシー反応の既往歴</p> <p>【重大な副作用】アナフィラキシー・肺障害・心障害(低血圧、血管浮腫、低酸素血症、気管支痙攣、肺炎(間質性肺炎、アレルギー性肺炎等)、閉塞性細気管支炎、肺浸潤、急性呼吸促進症候群、心筋梗塞、心室細動、心原性ショック等)、腫瘍崩壊症候群、B型肝炎ウイルスによる劇症肝炎、肝炎の増悪、肝機能障害、黄疸、皮膚粘膜症候群(Stevens-Johnson症候群、TEN、天疱瘡様症状、苔癬状皮膚炎、小水疱性皮膚炎等)、汎血球減少、白血球減少、好中球減少、無顆粒球症、血小板減少、感染症、進行性多巣性白質脳症(PML)、間質性肺炎、心障害、腎障害、消化管穿孔・閉塞、血圧下降、可逆性後白質脳症症候群等の脳神経症状</p> <p>【妊婦・授乳婦】妊婦：有益性と危険性より判断、安全性未確立。ヒトIgGは胎盤関門を通過。授乳婦：授乳禁止、安全性未確立。ヒトIgGは母乳中へ移行。</p> <p>【備考】調整時：抗体が凝集するおそれがあるので、希釈時及び希釈後に泡立つような激しい振動を与えないこと</p>	<p>CD20モノクローナル抗体・抗悪性腫瘍剤 【効能・効果】①CD20陽性のB細胞性非ホジキンリンパ腫。②免疫抑制状態下のCD20陽性のB細胞性リンパ増殖性疾患。③ヴェゲナ肉芽腫症、顕微鏡的多発血管炎。 【警告】1.本剤の投与は、緊急時に十分に対応できる医療施設において、造血管腫瘍、自己免疫疾患の治療に対して、十分な知識・経験を持つ医師のもとで、本剤の使用が適切と判断される症例のみに行うこと。また、治療開始に先立ち、患者又はその家族に有効性及び危険性を十分に説明し、同意を得てから投与を開始すること。 2.先行バイオ医薬品の投与開始後30分～2時間よりあらわれるinfusion reactionのうちアナフィラキシー様症状、肺障害、心障害等の重篤な副作用(低酸素血症、肺浸潤、急性呼吸促進症候群、</p>

上記以外の薬品情報につきましては電子カルテの薬品情報検索または最新の添付文書をご参照ください。

以上
連絡先：薬剤科DI室(内線4111)

各 位

薬剤科

採用医薬品情報（後発医薬品）（3月）

2019年3月29日（金）に開催された薬事委員会の答申に基づき、下記医薬品の採用が病院長より許可されましたのでお知らせ致します。

4. 組織細胞機能用医薬品

42. 腫瘍用薬 429. その他の腫瘍用薬

4291. その他の抗悪性腫瘍用剤

薬剤名・剤型・規格・薬価	用法・用量	効能・効果・備考
リツキシマブ（遺伝子組換え） Rituximab (genetical recombination) ④ リツキシマブBS点滴静注用 Rituximab BS 注：100mg-10mL/V 1V：22,553.00 （協和発酵キリン） 【貯法】 遮光，禁凍結，冷所（2～8℃）	（注） 生理食塩液又は5%ブドウ糖注射液にて10倍に希釈調製。①1回量375mg/m ² を1週間間隔で点滴静注。最大投与回数は8回。他の抗悪性腫瘍剤と併用する場合は、併用する抗悪性腫瘍剤の投与間隔に合わせて、1サイクルあたり1回投与。維持療法に用いる場合は、1回量375mg/m ² を点滴静注。投与間隔は8週間を目安とし、最大投与回数は12回。②1回量375mg/m ² を1週間間隔で点滴静注。最大投与回数は8回。③1回量375mg/m ² を1週間間隔で4回点滴静注。	CD20モノクローナル抗体・抗悪性腫瘍剤 【効能・効果】 ①CD20陽性のB細胞性非ホジキンリンパ腫。②免疫抑制状態下のCD20陽性のB細胞性リンパ増殖性疾患。③ヴェゲナ肉芽腫症、顕微鏡的多発血管炎。 【警告】 1. 本剤の投与は、緊急時に十分に対応できる医療施設において、造血管腫瘍、自己免疫疾患の治療に対して、十分な知識・経験を持つ医師のもとで、本剤の使用が適切と判断される症例のみに行うこと。また、治療開始に先立ち、患者又はその家族に有効性及び危険性を十分に説明し、同意を得てから投与を開始すること。 2. 先行バイオ医薬品の投与開始後30分～2時間よりあらわれるinfusion reactionのうちアナフィラキシー様症状、肺障害、心障害等の重篤な副作用（低酸素血症、肺浸潤、急性呼吸促進症候群、
リツキシマブBS点滴静注用 Rituximab BS 注：500mg-50mL/V 1V：110,498.00 （協和発酵キリン） 【貯法】 遮光，禁凍結，冷所（2～8℃）	心筋梗塞、心室細動、心原性ショック等）により、死亡に至った例が報告されている。これらの死亡例の多くは初回投与後24時間以内にみられている。また、本剤を再投与した時の初回投与後にも、これらの副作用があらわれるおそれがある。本剤投与中はバイタルサイン（血圧、脈拍、呼吸数等）のモニタリングや自覚症状の観察を行うとともに、投与後も患者の状態を十分観察すること。特に以下の患者については発現頻度が高く、かつ重篤化しやすいので注意すること。(1)血液中に大量の腫瘍細胞がある(25,000/μL以上)など腫瘍量の多い患者(2)脾腫を伴う患者(3)心機能、肺機能障害を有する患者3.腫瘍量の急激な減少に伴い、腎不全、高カルシウム血症、低カルシウム血症、高尿酸血症、高Al-P血症等の腫瘍崩壊症候群(tumor lysis syndrome)があらわれ、本症候群に起因した急性腎不全による死亡例及び透析が必要となった患者が先行バイオ医薬品において報告されている。血液中に大量の腫瘍細胞がある患者において、初回投与後12～24時間以内に高頻度に認められることから、急激に腫瘍量が減少した患者では、血清中電解質濃度及び腎機能検査を行うなど、患者の状態を十分観察すること。また、本剤を再投与した時の初回投与後にも、これらの副作用があらわれるおそれがある。4. B型肝炎ウイルスキャリアの患者で、先行バイオ医薬品の治療期間中又は治療終了後に、劇症肝炎又は肝炎の増悪、肝不全による死亡例が報告されている。5. 皮膚粘膜眼症候群(Stevens-Johnson症候群)、中毒性表皮壊死融解症(Toxic Epidermal Necrolysis: TEN)等の皮膚粘膜症状があらわれ、死亡に至った例が先行バイオ医薬品において報告されている。	【禁忌】 本剤の成分又はマウスタンパク質由来製品に対する重篤な過敏症又はアナフィラキシー反応の既往歴 【重大な副作用】 アナフィラキシー・肺障害・心障害（低血圧、血管浮腫、低酸素血症、気管支痙攣、肺炎（間質性肺炎、アレルギー性肺炎等）、閉塞性細気管支炎、肺浸潤、急性呼吸促進症候群、心筋梗塞、心室細動、心原性ショック等）、腫瘍崩壊症候群、B型肝炎ウイルスによる劇症肝炎、肝炎の増悪、肝機能障害、黄疸、皮膚粘膜症状(Stevens-Johnson症候群、TEN、天疱瘡様症状、苔癬状皮膚炎、小水疱性皮膚炎等)、汎血球減少、白血球減少、好中球減少、無顆粒球症、血小板減少、感染症、進行性多巣性白質脳症(PML)、間質性肺炎、心障害、腎障害、消化管穿孔・閉塞、血圧下降、可逆性後白質脳症症候群等の脳神経症状 【妊婦・授乳婦】 妊婦：有益性と危険性より判断、安全性未確立。ヒトIgGは胎盤関門を通過。授乳婦：授乳禁止、安全性未確立。ヒトIgGは母乳中へ移行。 【備考】 調整時：抗体が凝集するおそれがあるので、希釈時及び希釈後に泡立つような激しい振動を与えないこと

上記以外の薬品情報につきましては電子カルテの薬品情報検索または最新の添付文書をご参照ください。

以上
 連絡先：薬剤科DI室（内線4111）

各 位

薬剤科

採用医薬品情報（後発医薬品）（2月）

2019年2月22日（金）に開催された薬事委員会の答申に基づき、下記医薬品の採用が病院長より許可されましたのでお知らせ致します。

22. 呼吸器官用薬

221. 呼吸促進剤

2219. その他の呼吸促進剤

薬剤名・剤型・規格・薬価	用法・用量	効能・効果・備考
フルマゼニル Flumazenil  ㊦フルマゼニル静注液 Flumazenil 注：0.5mg-5mL/A 1A：1,438.00 ㊦（沢井） [先発品] アネキセート注射液0.5mg	（注） 初回0.2mgを緩徐に静注。4分以内に望まれる覚醒状態が得られない場合は更に0.1mgを追加。1分間隔で0.1mgずつを総投与量1mgまで、ICU領域では2mgまで投与を繰り返す。ベンゾジアゼピン系薬剤の投与状況及び患者の状態により増減	ベンゾジアゼピン受容体拮抗剤 【効能・効果】 ベンゾジアゼピン系薬剤による鎮静の解除及び呼吸抑制の改善 【禁忌】 本剤及びベンゾジアゼピン系薬剤に対し過敏症、長期間ベンゾジアゼピン系薬剤を投与されているてんかん患者 【重大な副作用】 ショック、アナフィラキシー 【妊婦・授乳婦】 妊婦：有益性と危険性より判断、安全性未確立 授乳婦：授乳禁止、動物で乳汁移行

23. 消化器官用薬

232. 消化性潰瘍用剤

2325. H2遮断剤

薬剤名・剤型・規格・薬価	用法・用量	効能・効果・備考
ラニチジン塩酸塩 Ranitidine hydrochloride ㊦ラニチジン錠 Ranitidine 錠：150mg 1錠：6.00 ㊦（沢井） 【貯法】 遮光 [先発品] ザンタック錠150	（内） ①1回150mgを1日2回（朝食後、就寝前）。1回300mgを1日1回（就寝前）投与も可。上部消化管出血に対しては、注射剤で治療を開始し、内服可能となった後、経口投与に切り替える。②1回150mgを1日1回（就寝前）。③1回150mgを手術前日就寝前及び手術当日麻酔導入2時間前の2回 【重大な副作用】 ショック、アナフィラキシー、再生不良性貧血、汎血球減少、無顆粒球症、血小板減少、肝機能障害、黄疸、横紋筋融解症、意識障害、痙攣、ミオクローヌス、間質性腎炎、TEN、Stevens-Johnson症候群。（類薬）房室ブロック等の心ブロック 【妊婦・授乳婦】 妊婦：有益性と危険性より判断、胎盤を通過、安全性未確立。授乳婦：授乳禁止、ヒト母乳中へ移行	H2-受容体拮抗剤 【効能・効果】 ①胃潰瘍、十二指腸潰瘍、吻合部潰瘍、Zollinger-Ellison症候群、逆流性食道炎、上部消化管出血（消化性潰瘍、急性ストレス潰瘍、急性胃粘膜病変による）。②次記疾患の胃粘膜病変（びらん、出血、発赤、浮腫）の改善：急性胃炎、慢性胃炎の急性増悪期。③麻酔前投薬 【禁忌】 本剤の成分に対して過敏症

26. 外皮用薬

261. 外皮用殺菌消毒剤

2612. ヨウ素化合物

薬剤名・剤型・規格・薬価	用法・用量	効能・効果・備考
ポビドンヨード Povidone-iodine ㊦ポビドンヨードスクラブ液 Povidone-iodine 外液：7.5%-500mL 2.12/mL ㊦（ケンエー） 【貯法】 遮光 [先発品] イソジンススクラブ液7.5%	（外） ①適量を用い、少量の水を加えて摩擦し、よく泡立たせたのち、流水で洗う。②塗布するか、又は少量の水を加えて摩擦し、泡立たせたのち、滅菌ガーゼで拭う	殺菌消毒剤 【効能・効果】 ①手指・皮膚の消毒。②手術部位（手術野）の皮膚の消毒 【重大な副作用】 ショック、アナフィラキシー 【妊婦・授乳婦】 妊婦・授乳婦：長期、広範囲の使用を避ける

3. 代謝性医薬品

32. 滋養強壯薬

323. 糖類剤

3231. ブドウ糖製剤

薬剤名・剤型・規格・薬価	用法・用量	効能・効果・備考
ブドウ糖 Glucose ㊦糖液キットH Glucose 注：5%-100mL/B 1B：165.00 Ⓜ Ⓧ (ニプロ)	注射剤の溶解希釈に用いる	ブドウ糖製剤 【効能・効果】 注射剤の溶解希釈剤 【禁忌】 低張性脱水症

上記以外の薬品情報につきましては電子カルテの薬品情報検索または最新の添付文書をご参照ください。

以上

連絡先：薬剤科DI室（内線4111）

各 位

薬剤科

採用医薬品情報（後発医薬品）（1月）

2019年1月25日（金）に開催されました薬事委員会の答申に基づき、病院長から下記医薬品の採用が許可されましたのでお知らせ致します。

1. 神経系及び感覚器用医薬品

11. 中枢神経系用薬

114. 解熱鎮痛消炎剤

1141. アニリン系製剤

薬剤名・剤型・規格・薬価	用法・用量	効能・効果・備考
アセトアミノフェン Acetaminophen (後) アセトアミノフェン錠 Acetaminophen 錠：200mg 1錠：7.10 □ (丸石) MI12	【内】 ①1回300～1000mg、投与間隔は4～6時間以上とし、1日総量4000mgまで、空腹時投与禁止希望。②1回300～500mgを頓用。1日2回まで、1日1500mgまで。空腹時投与禁止希望。③幼児及び小児：1回10～15mg/kg。投与間隔は4～6時間以上とし、1日総量60mg/kgまで。成人の用量を超えない。空腹時投与禁止希望	アミノフェノール系解熱鎮痛剤 【効能・効果】 ①次記の疾患並びに症状の鎮痛：頭痛、耳痛、症候性神経痛、腰痛症、筋肉痛、打撲痛、捻挫痛、月経痛、分娩後痛、がんによる疼痛、歯痛、歯科治療後の疼痛、変形性関節症。②次記疾患の解熱・鎮痛：急性上気道炎（急性気管支炎を伴う急性上気道炎を含む）。③小児科領域における解熱・鎮痛 【警告】 1. 本剤により重篤な肝障害が発現するおそれがあることに注意し、1日総量1,500mgを超す高用量で長期投与する場合には、定期的に肝機能等を確認するなど慎重に投与すること。（「重要な基本的注意9.」の項参照） 2. 本剤とアセトアミノフェンを含む他の薬剤（一般用医薬品を含む）との併用により、アセトアミノフェンの過量投与による重篤な肝障害が発現するおそれがあることから、これらの薬剤との併用を避けること。（「重要な基本的注意7.」及び「過量投与」の項参照） 【禁忌】 消化性潰瘍、重篤な血液異常・肝障害・腎障害・心機能不全、本剤の成分に対し過敏症、アスピリン喘息又はその既往歴 【重大な副作用】 ショック、アナフィラキシー、TEN、Stevens-Johnson症候群、急性汎発性発疹性膿疱症、喘息発作の誘発、劇症肝炎、肝機能障害、黄疸、顆粒球減少症、間質性肺炎、間質性腎炎、急性腎不全 【妊婦・授乳婦】 妊婦：有益性と危険性より判断、安全性未確立。妊娠後期の婦人への投与により胎児に動脈管収縮。妊娠後期の動物で弱い胎仔の動脈管収縮
アセトアミノフェン Acetaminophen (後) アセトアミノフェン錠 Acetaminophen 錠：500mg 1錠：9.20 □ (丸石) MI15	【内】 ①1回300～1000mg、投与間隔は4～6時間以上とし、1日総量4000mgまで、空腹時投与禁止希望。②1回300～500mgを頓用。1日2回まで、1日1500mgまで。空腹時投与禁止希望。③幼児及び小児：1回10～15mg/kg。投与間隔は4～6時間以上とし、1日総量60mg/kgまで。成人の用量を超えない。空腹時投与禁止希望	アミノフェノール系解熱鎮痛剤 【効能・効果】 ①次記の疾患並びに症状の鎮痛：頭痛、耳痛、症候性神経痛、腰痛症、筋肉痛、打撲痛、捻挫痛、月経痛、分娩後痛、がんによる疼痛、歯痛、歯科治療後の疼痛、変形性関節症。②次記疾患の解熱・鎮痛：急性上気道炎（急性気管支炎を伴う急性上気道炎を含む）。③小児科領域における解熱・鎮痛 【警告】 1. 本剤により重篤な肝障害が発現するおそれがあることに注意し、1日総量1500mgを超す高用量で長期投与する場合には、定期的に肝機能等を確認するなど慎重に投与すること。（「重要な基本的注意 9.」の項参照） 2. 本剤とアセトアミノフェンを含む他の薬剤（一般用医薬品を含む）との併用により、アセトアミノフェンの過量投与による重篤な肝障害が発現するおそれがあることから、これらの薬剤との併用を避けること。（「重要な基本的注意 7.」及び「過量投与」の項参照） 【禁忌】 消化性潰瘍、重篤な血液異常・肝障害・腎障害・心機能不全、本剤の成分に対し過敏症、アスピリン喘息又はその既往歴 【重大な副作用】 ショック、アナフィラキシー、TEN、Stevens-Johnson症候群、急性汎発性発疹性膿疱症、喘息発作の誘発、劇症肝炎、肝機能障害、黄疸、顆粒球減少症、間質性肺炎、間質性腎炎、急性腎不全 【妊婦・授乳婦】 妊婦：有益性と危険性より判断、安全性未確立。妊娠後期の婦人への投与により胎児に動脈管収縮。妊娠後期の動物で弱い胎仔の動脈管収縮

1149. その他の解熱鎮痛消炎剤

薬剤名・剤型・規格・薬価	用法・用量	効能・効果・備考
<p>㊦ トアラセット配合錠 Toaraset 配合錠 1錠：22.80 ㊦ (丸石)</p> <p>1錠中： トラマドール塩酸塩 37.5mg アセトアミノフェン 325mg</p>	<p>(内) ①1回1錠，1日4回。投与間隔は4時間以上空ける。1回2錠，1日8錠まで。空腹時の投与禁止希望。②1回2錠。追加投与の場合は，投与間隔を4時間以上空ける。1回2錠，1日8錠まで。空腹時の投与禁止希望</p>	<p>【効能・効果】 非オピオイド鎮痛剤で治療困難な次記疾患における鎮痛：①非がん性慢性疼痛。②抜歯後の疼痛 【警告】 1. 本剤により重篤な肝障害が発現するおそれがあることに注意し，アセトアミノフェンの1日総量が1500mg（本剤4錠）を超過用量で長期投与する場合には，定期的に肝機能等を確認するなど，慎重に投与すること（「重要な基本的注意」の項参照）。</p> <p>2. 本剤とトラマドール又はアセトアミノフェンを含む他の薬剤（一般用医薬品を含む）との併用により，過量投与に至るおそれがあることから，これらの薬剤との併用を避けること（「過量投与」の項参照） 【禁忌】 アルコール・睡眠剤・鎮痛剤・オピオイド鎮痛剤又は向精神薬による急性中毒患者，MAO阻害剤を投与中又は投与中止後14日以内，治療により十分な管理がされていないてんかん患者，消化性潰瘍，重篤な血液の異常，重篤な肝障害，重篤な腎障害，重篤な心機能不全，アスピリン喘息（非ステロイド製剤による喘息発作の誘発）又はその既往歴，本剤の成分に対し過敏症 【重大な副作用】 ショック，アナフィラキシー，痙攣，意識消失，依存性，TEN，Stevens-Johnson症候群，急性汎発性発疹性膿疱症，間質性肺炎，間質性腎炎，急性腎障害，喘息発作の誘発，劇症肝炎，肝機能障害，黄疸，顆粒球減少症，呼吸抑制 【妊婦・授乳婦】 妊婦：有益性と危険性より判断，安全性未確立。トラマドールは胎盤関門を通過し，新生児に痙攣発作，身体的依存及び退薬症候，並びに胎児死亡及び死産。動物：トラマドールは器官形成，骨化及び出生仔の生存に影響。妊娠後期の婦人へのアセトアミノフェンの投与により胎児に動脈管収縮。動物：アセトアミノフェンは妊娠後期の投与で胎仔に軽度の動脈管収縮。授乳婦：授乳禁止，トラマドールは母乳中へ移行</p>

2. 個々の器官系用医薬品

21. 循環器器官用薬

214. 血圧降下剤

2149. その他の血圧降下剤

薬剤名・剤型・規格・薬価	用法・用量	効能・効果・備考
<p>ロサルタンカリウム Losartan potassium  ㊦ ロサルタンカリウム錠 Losartan potassium 錠：25mg 1錠：20.80 ㊦ ㊧ ㊨ (日医工) @856/25 【先発品】ニューロタン錠25mg</p>	<p>(内) ①25～50mgを1日1回。1日100mgまで。②50mgを1日1回。血圧値をみながら1日100mgまで。過度の血圧低下を起こす恐れのある患者等では25mgから開始</p>	<p>A-IIアンタゴニスト 【効能・効果】 ①高血圧症。②高血圧及び蛋白尿を伴う2型糖尿病における糖尿病性腎症 【禁忌】 本剤の成分に対し過敏症，妊婦又は妊娠している可能性，重篤な肝障害，アリスキレンを投与中の糖尿病患者（但し，他の降</p> <p>圧治療を行ってもなお血圧のコントロールが著しく不良の患者を除く） 【重大な副作用】 アナフィラキシー，血管浮腫，急性・劇症肝炎，腎不全，ショック，失神・意識消失，横紋筋融解症，高カリウム血症，不整脈，汎血球減少，白血球減少，血小板減少，低血糖，低ナトリウム血症 【妊婦・授乳婦】 妊婦：投与禁止，妊娠が判明した場合は直ちに投与中止。妊娠中期及び末期の高血圧患者で羊水過少症，胎児・新生児の死亡，新生児の低血圧，腎不全，多臓器不全，頭蓋の形成不全及び羊水過少症によると推測される四肢の奇形，頭蓋顔面の奇形，肺の発育不全等。 授乳婦：授乳禁止，動物で乳汁移行</p>

採用情報はWS Sにも掲載されています。（添付ファイル参照）

また，上記以外の薬品情報につきましては電子カルテの薬品情報検索または最新の添付文書をご参照ください。

以上

連絡先：薬剤科DI室（内線4111）

各 位

薬剤科

採用医薬品情報（11月）

2018年11月30日（金）に開催された薬事委員会の答申に基づき、下記医薬品の採用が病院長より許可されましたのでお知らせ致します。

2. 個々の器官系用医薬品

21. 循環器官用薬

211. 強心剤

2119. その他の強心剤

薬剤名・剤型・規格・薬価	用法・用量	効能・効果・備考
ピモベンダン Pimobendan ㊟ ピモベンダン錠 Pimobendan 錠：0.625mg 1錠：33.60 （トーアエイヨー） 【貯法】 遮光 TE/CO TECO	（内） ①1回2.5mg. 患者の病態に応じ、1日2回. 必要に応じてジギタリス製剤等と併用. ②1回2.5mgを1日2回食後. ジギタリス製剤, 利尿剤等と併用 い場合：慢性心不全（軽症～中等症） 【重大な副作用】 心室細動, 心室頻拍（Torsades de pointesを含む）, 心室性期外収縮, 肝機能障害, 黄疸 【妊婦・授乳婦】 妊婦：有益性と危険性より判断. 動物：妊娠前, 妊娠初期投与で胚死亡率の増加, 周産期, 授乳期投与で出生仔体重の低下. 授乳婦：授乳禁止, 動物で乳汁移行	心不全治療薬 【効能・効果】 ①次記の状態, 利尿剤等を投与しても十分な心機能改善が得られない場合：急性心不全. ②次記の状態, ジギタリス製剤, 利尿剤等の基礎治療剤を投与しても十分な効果が得られない

3. 代謝性医薬品

31. ビタミン剤

314. ビタミンC剤

薬剤名・剤型・規格・薬価	用法・用量	効能・効果・備考
アスコルビン酸 Ascorbic acid ㊟ アスコルビン酸注射液 Ascorbic acid 注：500mg/V 1A：56.00 （日新製薬） 【貯法】 遮光	（注） 1日50～2000mgを1～数回に分割し皮下注, 筋注又は静注	ビタミンC 【効能・効果】 ①ビタミンC欠乏症の予防及び治療（壊血病, メルレル・バロー病）. ②ビタミンCの需要が増大し, 食事からの摂取が不十分な際の補給（消耗性疾患, 妊産婦, 授乳婦, 激しい肉体労働時等）. ③次記疾患のうち, ビタミンC欠乏又は代謝障害が関与すると推定される場合：毛細管出血（鼻出血, 歯肉出血, 血尿等）, 薬物中毒, 副腎皮質機能障害, 骨折時の骨基質形成・骨癒合促進, 肝斑・雀卵斑・炎症後の色素沈着, 光線過敏性皮膚炎. ③の効能・効果に対して, 効果がないのに月余にわたって漫然と使用すべきでない

33. 血液・体液用薬

332. 止血剤

3327. 抗プラスミン剤

薬剤名・剤型・規格・薬価	用法・用量	効能・効果・備考
トラネキサム酸 Tranexamic acid ㊟ トラネキサム酸注 Tranexamic acid 注：250mg-5mL 1A：58.00 (日新製薬) [先発品] トランサミン注5% ㊟ トラネキサム酸注 Tranexamic acid 注：1g-10mL 1A：68.00 (日新製薬) [先発品] トランサミン注10%	(静) (筋) (滴) 1日250～500mgを1～2回に分割し静注又は筋注。術中・術後等には必要に応じ1回500～1000mgを静注するか、500～2500mgを点滴静注 ける紅斑・腫脹・そう痒等の症状：湿疹及びその類症、蕁麻疹、薬疹・中毒疹。次記疾患における咽頭痛・発赤・充血・腫脹等の症状：扁桃炎、咽喉頭炎。口内炎における口内痛及び口内粘膜アフター 【禁忌】 トロンビン投与中、本剤の成分に対し過敏症 【重大な副作用】 ショック、痙攣	抗プラスミン剤 【効能・効果】 全身性線溶亢進が関与すると考えられる出血傾向(白血病、再生不良性貧血、紫斑病等、及び手術中・術後の異常出血)。局所線溶亢進が関与すると考えられる異常出血(肺出血、鼻出血、性器出血、腎出血、前立腺手術中・術後の異常出血)。次記疾患にお

39. その他の代謝性医薬品

396. 糖尿病用剤

2492. すい臓ホルモン剤

薬剤名・剤型・規格・薬価	用法・用量	効能・効果・備考
インスリングルルギン (遺伝子組換え) Insulin glargine (genetical recombination) ㊟  ㊟ インスリングルルギンBS注ミリオペン Insulin glargine BS 注：300単位-3mL/本 1本：1,481.00 ㊟ ㊦ ㊧ (リリー) 【貯法】 遮光，2～8℃	(皮下) 初期は1日1回4～20単位を皮下注。注射時刻は朝食前又は就寝前のいずれでもよいが、毎日一定とする。その他のインスリン製剤の投与量を含めた維持量は1日4～80単位 【妊婦・授乳婦】 妊婦：安全性未確立。妊娠した場合、あるいは妊娠が予測される場合には医師に知らせるよう指導すること。 妊婦・授乳婦：妊娠中、周産期、授乳期等にはインスリンの需要量が変化、用量に留意し、定期的に検査を行う 【備考】 使用開始後は、30℃以下の室温で、高温および直射日光を避けて保存すること。冷蔵庫に保存しないこと。 使用開始後28日以内に使用すること	持効型溶解インスリンアナログ製剤 【効能・効果】 インスリン療法が適応となる糖尿病 【禁忌】 低血糖症状、本剤の成分又は他のインスリン製剤に対し過敏症 【重大な副作用】 低血糖、ショック、アナフィラキシー、血管神経性浮腫

採用情報はWSSにも掲載されています。(添付ファイル参照)

また、上記以外の薬品情報につきましては電子カルテの薬品情報検索または最新の添付文書をご参照ください。

以上
連絡先：薬剤科DI室 (内線4111)

各 位

薬剤科

採用医薬品情報(10月)

2018年10月19日(金)に開催されました薬事委員会の答申に基づき、病院長から下記医薬品の採用が許可されましたのでお知らせ致します。

1. 神経系及び感覚器用医薬品

11. 中枢神経系用薬

119. その他の中枢神経系用薬

薬剤名・剤型・規格・薬価	用法・用量	効能・効果・備考
タルチレリン水和物 Taltirelin hydrate  タルチレリン00錠 Taltirelin 錠：5mg(口腔内崩壊錠) 1錠：495.70 (日医工) JG C37/5 [先発品] セレジスト錠5mg	(内) 1回5mgを1日2回朝夕食後	経口脊髄小脳変性症治療剤 【効能・効果】 脊髄小脳変性症における運動失調の改善 【重大な副作用】 痙攣、悪性症候群、肝機能障害、黄疸。(類薬) ショック様症状、下垂体腺腫患者で下垂体卒中、血小板減少 【妊婦・授乳婦】 妊婦：有益性と危険性より判断、安全性未確立。授乳婦：有益性と危険性より判断、動物で乳汁移行

2. 個々の器官系用医薬品

21. 循環器用薬

217. 血管拡張剤

2171. 冠血管拡張剤

薬剤名・剤型・規格・薬価	用法・用量	効能・効果・備考
硝酸イソソルビド Isosorbide dinitrate  硝酸イソソルビドテープ Isosorbide dinitrate テープ：40mg/枚 1枚：33.20 (Ⓜ) (Ⓟ) (エルメッドエーザイ) 【貯法】 遮光 硝酸イソソルビドテープ40mg「EMEC」 EE301 [先発品] フランドルテープ40mg	(外) 1回1枚(40mg)を胸部、上腹部又は背部のいずれかに貼付。貼付後24時間又は48時間ごとに貼りかえる 外傷又は脳出血、高度な貧血、硝酸・亜硝酸エステル系薬剤に対し過敏症、ホスホジエステラーゼ5阻害作用を有する薬剤(シルデナフィルクエン酸塩、バルデナフィル塩酸塩水和物、タダラフィル)・グアニル酸シクラーゼ刺激作用を有する薬剤(リオシグアト)投与中 【妊婦・授乳婦】 妊婦：有益性と危険性より判断、安全性未確立。 授乳婦：授乳禁止、動物で乳汁中へ移行	経皮吸収型・虚血性心疾患治療剤 【効能・効果】 狭心症、心筋梗塞(急性期を除く)、その他の虚血性心疾患 【禁忌】 重篤な低血圧又は心原性ショック、閉塞隅角緑内障、頭部

219. その他の循環器用薬

薬剤名・剤型・規格・薬価	用法・用量	効能・効果・備考
<p>アルプロスタジルアルファデクス Alprostadil alfadex</p> <p>Ⓢ</p> <p>Ⓢ ④アルプロスタジルアルファデクス注射液</p> <p>射用 Alprostadil alfadex 注：20 μg/V 1V：363.00</p> <p>⊕ (高田製薬)</p> <p>【貯法】 遮光 [先発品] プロスタンディン注射用20 μg</p>	<p>(動) ①20 μg (1バイアル) を生食液5mLに溶かし、1日10～15 μg (0.1～0.15ng/kg/分) をシリンジポンプを用い持続的に動脈内注射、症状により0.05～0.2ng/kg/分の間で適宜増減。 (滴) ②1)～3) 1回40～60 μg (2～3バイアル) を輸液500mLに溶解し、2時間かけて点滴静注 (5～10ng/kg/分)、投与速度は1.2 μg/kg/2時間以下、1日1～2回。 (静) 4) 50～100ng/kg/分で静脈内投与を開始、有効最小量で持続。 (注) ③20 μg (1バイアル) を生理食塩液1mLに溶かし、1回量20 μgを陰茎海绵体へ注射</p>	<p>プロスタグランジンE₁製剤 【効能・効果】 ①動脈内投与：慢性動脈閉塞症（パージャー病、閉塞性動脈硬化症）における四肢潰瘍ならびに安静時疼痛の改善。②静脈内投与：1) 振動病における末梢血行障害に伴う自覚症状の改善ならびに末梢循環・神経・運動機能障害の回復。2) 血行再建術後の血流維持。3) 動脈内投与が不適と判断される慢性動脈閉塞症（パージャー病、閉塞性動脈硬化症）における四肢潰瘍ならびに安静時疼痛の改善。4) 動脈管依存性先天性心疾患における動脈管の開存。③陰茎海绵体内投与：勃起障害の診断 【警告】 1. 動脈管依存性先天性心疾患に投与する場合には、本剤投与により無呼吸発作が発現することがあるので、呼吸管理設備の整っている施設で投与すること。 2. 勃起障害の診断で投与する場合 (1) 本剤投与により4時間以上の勃起の延長又は持続勃起症（6時間以上持続する勃起）が発現することがあるので、勃起が4時間以上持続する症状がみられた場合、速やかに適切な処置を行うこと。持続勃起症に対する処置を速やかに行わないと陰茎組織の損傷又は勃起機能を永続的に損なうことがある。 (2) 本剤投与により勃起の延長又は持続勃起症、不整脈、一過性の低血圧等が発現することがあるので、本剤を用いた勃起障害の診断は、勃起障害の診断及び治療に精通し、本剤投与時の副作用への対処が可能な医師が、緊急時の対応が可能な状況で行うこと 【禁忌】 重篤な心不全、肺水腫（動脈管依存性先天性心疾患は除く）、出血（頭蓋内出血、出血性眼疾患、消化管出血、喀血等）、妊婦又は妊娠している可能性、本剤の成分に対し過敏症 【重大な副作用】 ショック、アナフィラキシー、心不全、肺水腫、脳出血、消化管出血、心筋梗塞、無顆粒球症、白血球減少、肝機能障害、黄疸、間質性肺炎。動脈管依存性先天性心疾患への投与で無呼吸発作、持続勃起症 【妊婦・授乳婦】 妊婦：投与禁止。子宮収縮作用</p>
<p>アルプロスタジルアルファデクス Alprostadil alfadex</p> <p>Ⓢ</p> <p>Ⓢ ④アルプロスタジルアルファデクス点滴静注用</p> <p>Alprostadil alfadex 注：500 μg/V 1V：5,074.00</p> <p>⊕ (高田製薬)</p> <p>【貯法】 遮光 [先発品] プロスタンディン点滴静注用500 μg</p>	<p>(滴) 500 μgを輸液100mLに溶解し5～10 μg/分 (0.1～0.2 μg/kg/分) の注入速度で点滴静注を開始。血圧の下降に注意しながら目的とする血圧まで下げ、以後それを維持できる点滴速度に調節。低血圧を維持するためには2.5～10 μg/分 (0.05～0.2 μg/kg/分) を必要</p> <p>成分に対し過敏症 【重大な副作用】 ショック 【妊婦・授乳婦】 妊婦：投与禁止。子宮収縮作用</p>	<p>プロスタグランジンE₁製剤 【効能・効果】 ①次記における外科手術時の低血圧維持：高血圧症又は軽度の虚血性心疾患を合併する場合。②外科手術時の異常高血圧の救急処置 【禁忌】 重症の動脈硬化症及び心あるいは脳に高度な循環障害、重症の肝疾患、腎疾患、非代償性の高度の出血、ショック状態及び呼吸不全、未治療の貧血患者、妊婦又は妊娠している可能性、本剤の</p>

26. 外皮用薬

269. その他の外皮用薬

2699. 他に分類されない外皮用薬

薬剤名・剤型・規格・薬価	用法・用量	効能・効果・備考
<p>Ⓢ ④イソジンシュガーパスタ軟膏</p> <p>Isodine sugar 軟：0.03% 11.00/g</p> <p>(塩野義)</p> <p>[先発品] ユーパスタコーワ軟膏、ソアナス軟膏</p> <p>100g中： 精製白糖 70.0g ポビドンヨード 3.0g</p>	<p>(外) 症状及び病巣の広さに応じて適量を使用。潰瘍面を清拭後、1日1～2回ガーゼにのぼして貼付するか、又は患部に直接塗布しその上をガーゼで保護</p>	<p>褥瘡・皮膚潰瘍治療剤 【効能・効果】 褥瘡、皮膚潰瘍（熱傷潰瘍、下腿潰瘍） 【禁忌】 本剤の成分又はヨウ素に対し過敏症 【重大な副作用】 ショック、アナフィラキシー 【妊婦・授乳婦】 妊婦・授乳婦：長期広範囲使用禁止</p>

3. 代謝性医薬品

31. ビタミン剤

311. ビタミンA及びD剤

3112. 合成ビタミンD製剤

薬剤名・剤型・規格・薬価	用法・用量	効能・効果・備考
カルシトリオール Calcitriol (特) (後) カルシトリオールカプセル Calcitriol Cap : 0.25 μg lCap : 7.00 (伊) (大) (富士フィルムファーマ) 【貯法】 遮光 YD486 [先発品] ロカルトロールカプセル 0.25	(内) ①1日0.5 μgを2回に分割. ②1日1回0.25 ~ 0.75 μg. ③1日1回0.5 ~ 2.0 μg 低下, 骨痛, 骨病変等)の改善: ②慢性腎不全. ③副甲状腺機能低下症, クル病・骨軟化症 【禁忌】 高カルシウム血症又はビタミンD中毒症状 【妊婦・授乳婦】 妊婦: 有益性と危険性より判断. 動物: 胎児化骨遅延, 新生児の骨格異常, 骨格変異, 胎児の膈ヘルニア, 四肢異常等の複合奇形. 授乳婦: 授乳禁止, 動物で乳汁移行	活性型ビタミンD製剤 【効能・効果】 ①骨粗鬆症. 次の疾患におけるビタミンD代謝異常に伴う諸症状 (低カルシウム血症, しびれ, テタニー, 知覚異常, 筋力)

39. その他の代謝性医薬品

399. 他に分類されない代謝性医薬品

3999. 他に分類されないその他の代謝性医薬品

薬剤名・剤型・規格・薬価	用法・用量	効能・効果・備考
シベレスタットナトリウム水和物 Sivelestat sodium hydrate (後) シベレスタットNa点滴静注用 Sivelestat sodium 注: 100mg/V 1V: 1,605.00 (大) (ニプロ) 【貯法】 遮光 [先発品] 注射用エラスポール100	(静) 本剤を生食液に溶解した後, 1日量4.8mg/kgを250~500mLの輸液で希釈し, 24時間 (0.2 mg/kg/時) かけて持続静注. 投与期間は14日以内 【妊婦・授乳婦】 妊婦: 有益性と危険性より判断, 安全性未確立. 授乳婦: 授乳禁止, 動物で乳汁移行	好中球エラスターゼ阻害剤 【効能・効果】 全身性炎症反応症候群に伴う急性肺障害の改善 【禁忌】 本剤の成分に対し過敏症 【重大な副作用】 呼吸困難, 白血球減少, 血小板減少, 肝機能障害, 黄疸

採用情報はWSSにも掲載されています。(添付ファイル参照)

また, 上記以外の薬品情報につきましては電子カルテの薬品情報検索または最新の添付文書をご参照ください。

以上
 連絡先: 薬剤科DI室 (内線4111)

採用医薬品情報(9月)

2018年5月25日(金)、7月20日(金)に開催されました薬事委員会の答申に基づき、病院長から下記医薬品の採用が許可されましたのでお知らせ致します。

2. 個々の器官系用医薬品

23. 消化器官用薬

234. 制酸剤

2344. 無機塩製剤

薬剤名・剤型・規格・薬価	用法・用量	効能・効果・備考
酸化マグネシウム Magnesium oxide ⑥ マグミット細粒 Magmitt 細：833mg/g 11.70/g (協和化学) KCI FG04 KCI FG06 [先発品] 酸化マグネシウム末	(内) ①1日0.5～1.0gを数回に分割。②1日2gを食前又は食後の3回に分割、又は就寝前に1回。③1日0.2～0.6gを多量の水とともに ②便秘症。③尿路シュウ酸カルシウム結石の発生予防 【重大な副作用】 高マグネシウム血症	制酸・緩下剤 【効能・効果】 ①次記疾患における制酸作用と症状の改善：胃・十二指腸潰瘍、胃炎(急・慢性胃炎、薬剤性胃炎を含む)、上部消化管機能異常(神経性食思不振、いわゆる胃下垂症、胃酸過多症を含む)。

6. 病原生物に対する医薬品

62. 化学療法剤

624. 合成抗菌剤

6241. ピリドンカルボン酸系製剤

薬剤名・剤型・規格・薬価	用法・用量	効能・効果・備考
レボフロキサシン水和物 Levofloxacin hydrate [LVFX]  ⑥ レボフロキサシン点滴静注バッグ Levofloxacin 注：500mg-100mL 1B：2,237.00 (第一三共エスファ) [先発品] クラビット点滴静注500mg/20mL	(注) 1回500mgを1日1回、約60分間かけて点滴静注	ニューキノロン系抗菌剤 【効能・効果】 外傷・熱傷及び手術創等の二次感染、肺炎、慢性呼吸器病変の二次感染、膀胱炎、腎盂腎炎、前立腺炎(急性症、慢性症)、精巣上体炎(副睾丸炎)、腹膜炎、胆嚢炎、胆管炎、腸チフス、パラチフス、子宮内感染、子宮付属器炎、炭疽、ブルセラ症、ペスト、野兔病、Q熱。(適応菌種)レボフロキサシンに感性のブドウ球菌属、レンサ球菌属、肺炎球菌、腸球菌属、モラクセラ(プランハメラ)・カタラーリス、炭疽菌、大腸菌、チフス菌、パラチフス菌、シトロバクター属、クレブシエラ属、エンテロバクター属、セラチア属、プロテウス属、モルガネラ・モルガニー、プロビデンシア属、ペスト菌、インフルエンザ菌、緑膿菌、アシネトバクター属、レジオネラ属、ブルセラ属、野兔病菌、ベプトストレプトコッカス属、プレボテラ属、Q熱リケッチア(コクシエラ・ブルネティ)、トラコーマクラミジア(クラミジア・トラコマティス)、肺炎クラミジア(クラミジア・ニューモニエ)、肺炎マイコプラズマ(マイコプラズマ・ニューモニエ)
		【禁忌】 本剤の成分又はオフロキサシンに対し過敏症、妊婦又は妊娠している可能性のある婦人及び小児等に対しては、炭疽等の重篤な疾患に限り、治療上の有益性を考慮して投与 【重大な副作用】 ショック、アナフィラキシー、TEN、Stevens-Johnson症候群、痙攣、QT延長、心室頻拍(Torsades de pointesを含む)、急性腎不全、間質性腎炎、劇症肝炎、肝機能障害、黄疸、汎血球減少症、無顆粒球症、溶血性貧血、血小板減少、間質性肺炎、好酸球性肺炎、偽膜性大腸炎等の血便を伴う重篤な大腸炎、横紋筋融解症、低血糖、アキレス腱炎、腱断裂等の腱障害、錯乱、せん妄、抑うつ等の精神症状、過敏性血管炎、重症筋無力症の悪化 【妊婦・授乳婦】 妊婦：投与禁止、安全性未確立。授乳婦：授乳禁止、オフロキサシンでヒト母乳中へ移行

採用情報はW S Sにも掲載されています。(添付ファイル参照)

また、上記以外の薬品情報につきましては電子カルテの薬品情報検索または最新の添付文書をご参照ください。

以上

連絡先：薬剤科DI室(内線4111)

採用医薬品情報(9月)

2018年9月21日(金)に開催された薬事委員会の答申に基づき、下記の後発医薬品の採用が病院長より許可されましたのでお知らせ致します。

1. 神経系及び感覚器用医薬品

11. 中枢神経系用薬 119. その他の中枢神経系用薬

薬剤名・剤型・規格・薬価	用法・用量	効能・効果・備考
エダラボン Edaravone ㊟ エダラボン点滴静注バッグ Edaravone 注：30mg-100mL/B 1B：2,251.00 ☐ (沢井製薬) [先発品] ラジカット点滴静注バッグ 30mg	(注) 1回30mgを、30分かけて1日朝夕2回の点滴静注。発症後24時間以内に投与を開始し、投与期間は14日以内 【重大な副作用】 急性腎不全、ネフローゼ症候群、劇症肝炎、肝機能障害、黄疸、血小板減少、顆粒球減少、DIC、急性肺障害、横紋筋融解症、ショック、アナフィラキシー 【妊婦・授乳婦】 妊婦：投与禁止希望、安全性未確立。授乳婦：授乳禁止。動物：乳汁移行	脳保護剤(フリーラジカスカベンジャー) 【効能・効果】 脳梗塞急性期に伴う神経症候、日常生活動作障害、機能障害の改善 【禁忌】 重篤な腎機能障害、本剤の成分に対し過敏症

6. 病原生物に対する医薬品

61. 抗生物質製剤 613. 主としてグラム陽性・陰性菌に作用するもの

6132. セフェム系抗生物質製剤

薬剤名・剤型・規格・薬価	用法・用量	効能・効果・備考
セフトリアキソンナトリウム水和物 Ceftriaxone sodium hydrate ㊟ セフトリアキソンNa静注用 Ceftriaxone sodium 注：1g/V 1V：274.00 ☐ (沢井製薬) 【貯法】 遮光 [採用後発品] セフキソン静注用1g	(静) (滴) 1日1~2gを1回又は2回に分割し静注又は点滴静注。難治性又は重症感染症には1日量を4gまで増量し、2回に分割。淋菌感染症については、次記の通り。(1) 咽頭・喉頭炎、尿道炎、子宮頸管炎、直腸炎：1gを単回静注又は単回点滴静注。(2) 精巣上体炎(副睾丸炎)、骨盤内炎症性疾患：1日1回1gを静注又は点滴静注。 小児：1日20~60mg/kgを1回又は2回に分けて静注又は点滴静注。難治性又は重症感染症には1日量を120mg/kgまで、2回に分けて。未熟児・新生児の生後0~3日齢には1回20mg/kgを1日1回、生後4日齢以降には1回20mg/kgを1日2回静注又は点滴静注。難治性又は重症感染症には1回量を40mg/kgまで増量し、1日2回投与。生後2週間以内の未熟児・新生児には1日50mg/kgまで。静注に際しては、注射用水、生理食塩液又はブドウ糖注射液に溶解し、緩徐に。点滴静注に際しては補液に溶解して用いる。注) 点滴静注を行う場合、注射用水を用いない(溶液が等張にならないため)。点滴静注は30分以上かけて	セフェム系抗生物質 【効能・効果】 敗血症、咽頭・喉頭炎、扁桃炎、急性気管支炎、肺炎、肺膿瘍、膿胸、慢性呼吸器病変の二次感染、膀胱炎、腎盂腎炎、精巣上体炎(副睾丸炎)、尿道炎、子宮頸管炎、骨盤内炎症性疾患、直腸炎、腹膜炎、腹腔内膿瘍、胆嚢炎、胆管炎、バルトリン腺炎、子宮内感染、子宮付属器炎、子宮旁結合織炎、化膿性髄膜炎、角膜炎(角膜潰瘍を含む)、中耳炎、副鼻腔炎、顎骨周辺の蜂巣炎、顎炎。(適応菌種)セフトリアキソンに感性のブドウ球菌属、レンサ球菌属、肺炎球菌、淋菌、大腸菌、シトロバクター属、クレブシエラ属、エンテロバクター属、セラチア属、プロテウス属、モルガネラ・モルガニー、プロビデンス属、インフルエンザ菌、ペプトストレプトコッカス属、バクテロイデス属、プレボテラ属(プレボテラ・ピビアを除く) 【禁忌】 本剤の成分によるショックの既往歴、高ビリルビン血症の未熟児・新生児 【原則禁忌】 本剤の成分又はセフェム系抗生物質に対し過敏症 【重大な副作用】 ショック、アナフィラキシー、汎血球減少、無顆粒球症、白血球減少、血小板減少、溶血性貧血、劇症肝炎、肝機能障害、黄疸、急性腎不全、間質性腎炎、偽膜性大腸炎、TEN、Stevens-Johnson症候群、急性汎発性発疹性膿疱症、間質性肺炎、肺好酸球増多症(PIE症候群)、胆石、胆嚢内沈殿物、腎・尿路結石、精神神経症状 【妊婦・授乳婦】 妊婦：有益性と危険性より判断、安全性未確立。 授乳婦：授乳禁止希望、慎重投与、ヒト母乳中へ低濃度移行

採用情報はWSSにも掲載されています。(添付ファイル参照)

また、上記以外の薬品情報につきましては電子カルテの薬品情報検索または最新の添付文書をご参照ください。

以上

連絡先：薬剤科DI室(内線4111)

採用医薬品情報（9月）

2018年9月21日（金）に開催された薬事委員会の答申に基づき、下記の後発医薬品の採用が病院長より許可されましたのでお知らせ致します。

23. 消化器官用薬

232. 消化性潰瘍用剤 2325. H₂遮断剤

薬剤名・剤型・規格・薬価	用法・用量	効能・効果・備考
ラフチジン Lafutidine 後ラフチジン錠 Lafutidine 錠：10mg 1錠：17.20 伊 四 (陽進堂) YD225/10 [先発品] プロテカジン錠10	(内) ①1回10mgを1日2回（朝食後，夕食後又は就寝前）．②1回10mgを1日1回（夕食後又は就寝前）．③1回10mgを手術前日就寝前及び手術当日麻酔導入2時間前の2回	H₂受容体拮抗剤 【効能・効果】 ①胃潰瘍，十二指腸潰瘍，吻合部潰瘍，逆流性食道炎．②次記疾患の胃粘膜病変（びらん，出血，発赤，浮腫）の改善：急性胃炎，慢性胃炎の急性増悪期．③麻酔前投薬 【禁忌】 本剤の成分に対して過敏症
	【重大な副作用】 ショック，アナフィラキシー，肝機能障害，黄疸，無顆粒球症（初期症状：咽頭痛，全身倦怠感，発熱等），血小板減少．（類薬）汎血球減少症，再生不良性貧血，間質性腎炎，Stevens-Johnson症候群，TEN，横紋筋融解症，房室ブロック等の心ブロック，不全収縮 【妊婦・授乳婦】 妊婦：有益性と危険性より判断，安全性未確立．授乳婦：授乳禁止，動物で乳汁移行	

239. その他の消化器官用薬

2391. 鎮吐剤

薬剤名・剤型・規格・薬価	用法・用量	効能・効果・備考
グラニセトロン塩酸塩 Granisetron hydrochloride 劇 ㊦ ㊦ グラニセトロン内服ゼリー Granisetron ゼリー：1mg（グラニセトロンとして） 1包：410.50 ㊦ (日本ケミファ) [先発品] カイトリル錠1mg	(内) 1回2mgを1日1回 射に伴う消化器症状（悪心，嘔吐） 【禁忌】 本剤の成分に対し過敏症 【重大な副作用】 ショック，アナフィラキシー 【妊婦・授乳婦】 妊婦：有益性と危険性より判断，安全性未確立．授乳婦：授乳禁止，動物で乳汁移行	5-HT₃受容体拮抗型制吐剤 【効能・効果】 抗悪性腫瘍剤（シスプラチン等）投与及び放射線照

62. 化学療法剤

625. 抗ウイルス剤

薬剤名・剤型・規格・薬価	用法・用量	効能・効果・備考
オセルタミビルリン酸塩 Oseltamivir phosphate ㊦ ㊦ オセルタミビルカプセル Oseltamivir Cap：75mg（オセルタミビルとして） 1Cap：136.00 ㊦ (沢井製薬) オセルタミビル75mg/SW [先発品] タミフルカプセル75mg	(内) ①治療に用いる場合：成人及び体重37.5kg以上の小児には1回75mgを1日2回，5日間．②予防に用いる場合：(1)成人：1回75mgを1日1回，7～10日間．(2)体重37.5kg以上の小児：1回75mgを1日1回，10日間	抗インフルエンザウイルス剤 【効能・効果】 A型又はB型インフルエンザウイルス感染症及びその予防 【警告】 1. 本剤の使用にあたっては，本剤の必要性を慎重に検討すること． 2. 10歳以上の未成年の患者においては，因果関係は不明であるものの，本剤の服用後に異常行動を発現し，転落等の事故に至った例が報告されている．このため，この年代の患者には，合併症，既往歴等からハイリスク患者と判断される場合を除いては，原則として本剤の使用を差し控えること．また，小児・未成年者については，万が一の事故を防止するための予防的な対応として，本剤による治療が開始された後は，(1)異常行動の発現のおそれがあること，(2)自宅において療養を行う場合，少なくとも2日間，保護者等は小児・未成年者が一人にならないよう配慮することについて患者・家族に対し説明を行うこと．なお，インフルエンザ脳症等によっても，同様の症状が現れるとの報告があるので，上記と同様の説明を行うこと． 3. インフルエンザウイルス感染症の予防の基本はワクチン予防であり，本剤の予防使用はワクチン予防に置き換わるものではない 【禁忌】 本剤の成分に対し過敏症 【重大な副作用】 ショック，アナフィラキシー，肺炎，劇症肝炎，肝機能障害，黄疸，Stevens-Johnson症候群，TEN，急性腎障害，白血球減少，血小板減少，精神・神経症状，異常行動，出血性大腸炎，虚血性大腸炎 【妊婦・授乳婦】 妊婦：有益性と危険性より判断，安全性未確立．動物で胎盤を通過．授乳婦：授乳禁止，ヒト母乳中へ移行

採用情報はWS Sにも掲載されています。（添付ファイル参照）

また，上記以外の薬品情報につきましては電子カルテの薬品情報検索または最新の添付文書をご参照ください。

以上

連絡先：薬剤科DI室（内線4111）

各位

薬剤科

採用医薬品情報（8月）

2018年5月25日（金）に開催された薬事委員会の答申に基づき、下記の後発医薬品の採用が病院長より許可されましたのでお知らせ致します。

8119 その他のあへんアルカロイド系麻薬

一般名 商品名 (メーカー)	剤型・規格・薬価	用法・用量	効能・効果
麻, 劇 オキシコドン塩酸塩水和物 Oxycodone hydrochloride hydrate 自動車運転等注意 オキシコドン徐放錠 Oxycodone extended release tablets (第一三共)	錠: 5mg 1錠: 98.20 錠: 20mg 1錠: 331.10	モルフィナン系オピオイド 【用法・用量】【効能・効果】【禁忌】【原則禁忌】 【重大な副作用】【妊婦・授乳婦】【備考】 【投与制限日数】 共通医薬品集 P.1138 オキシコンチン錠 の項参照	
DSC/E5 DSC/E20			
【併用注意】【その他の副作用】 添付文書・薬品情報検索 (電子カルテ) 参照			

採用情報はWS Sにも掲載されています。(添付ファイル参照)

また、上記以外の薬品情報につきましては電子カルテの薬品情報検索または最新の添付文書をご参照ください。

以上

連絡先: 薬剤科 DI室 (内線 4111)

各位

薬剤科

採用医薬品情報（6月）

2018年6月22日（金）に開催されました薬事委員会の答申に基づき、病院長から下記医薬品の採用が許可されましたのでお知らせ致します。

2. 個々の器官系用医薬品

21. 循環器官用薬

212. 不整脈用剤

2129. その他の不整脈用剤

薬剤名・剤型・規格・薬価	用法・用量	効能・効果・備考
アミオダロン塩酸塩 Amiodarone hydrochloride (特) (後) アミオダロン塩酸塩静注 Amiodarone hydrochloride 注：150mg-3mL/A 1A：1,249.00 (トアエイヨー) 【貯法】 遮光 【先発品】 アンカロン注150	（注） ①次のとおり点滴静注。最大量として1日の総投与量は1250mgまで及び投与濃度は2.5mg/mLまで。 (1) 投与方法（48時間まで） 1) 初期急速投与：125mg（2.5mL）を5%ブドウ糖液100mLに加え、容量型の持続注入ポンプを用い、600mL/時（10mL/分）で10分間投与。 2) 負荷投与：750mg（15mL）を5%ブドウ糖液500mLに加え、容量型の持続注入ポンプを用い33mL/時で6時間投与。 3) 維持投与：17mL/時で合計42時間投与。1.6時間の負荷投与後、残液を33mL/時から17mL/時に投与速度を変更し、18時間投与。2.750mg（15mL）を5%ブドウ糖液500mLに加え、容量型の持続注入ポンプを用い17mL/時で24時間投与（アミオダロン塩酸塩として600mg）。 (2) 追加投与：血行動態不安定な心室頻拍あるいは心室細動が再発し、本剤投与が必要な場合には追加投与可。1回の追加投与は125mg（2.5mL）を5%ブドウ糖液100mLに加え、容量型の持続注入ポンプを用い、600mL/時（10mL/分）で10分間投与。 (3) 継続投与（3日以降）：48時間の投与終了後、継続投与が必要な場合には、継続投与可。750mg（15mL）を5%ブドウ糖液500mLに加え、容量型の持続注入ポンプを用い17mL/時で投与（アミオダロン塩酸塩として600mg/24時間）。 ②300mg（6mL）又は5mg/kgを5%ブドウ糖液20mLに加え、静脈内へボラス投与。心室性不整脈が持続する場合には、150mg（3mL）又は2.5mg/kgを5%ブドウ糖液10mLに加え、追加投与可	不整脈治療剤 【効能・効果】 ①生命に危険のある次記の不整脈で難治性かつ緊急を要する場合：心室細動、血行動態不安定な心室頻拍。②電氣的除細動抵抗性の心室細動あるいは無脈性心室頻拍による心停止 【警告】 1. 施設の限定 本剤の使用は致死的不整脈治療の十分な経験のある医師に限り、諸検査の実施が可能で、CCU、ICUあるいはそれに準ずる体制の整った、緊急時にも十分に対応できる施設でのみ使用すること。 2. 患者の限定 致死的不整脈患者で、難治性かつ緊急を要する場合にのみ使用すること。 3. 本剤では新たな不整脈や不整脈の増悪等を含む重篤な心障害が報告されており、ときに致死的な場合もあるので、CCU、ICU等で心電図及び血圧の連続監視下で使用すること。なお、血圧については可能な限り動脈内圧を連続監視することが望ましい。 4. 本剤投与後24時間以内に重篤な肝機能障害が生じ、肝不全や死亡に至る場合もある（海外症例の副作用報告）ので、患者の状態を慎重に観察するなど、十分に注意すること。 【禁忌】 洞性徐脈、洞房ブロック、重度伝導障害（高度な房室ブロック、二束ブロック又は三束ブロック）又は洞不全症候群があり、ペースメーカーを使用していない者。循環虚脱又は重篤な低血圧、本剤の成分又はヨウ素に対し過敏症。リトナビル、サキナビル、サキナビルメシル酸塩、インジナビル硫酸塩エタノール付加物、ネルフィナビルメシル酸塩、クラスIa及びクラスIII（ソタロール、ニフェカラン）の抗不整脈薬、ペプリジル塩酸塩水和物、スパルフロキサシン、モキシフロキサシン塩酸塩、エリスロマイシン（注射剤）、ペンタミジンイセチオン酸塩、トレミフェンクエン酸塩、テラプレビル、フィンゴリモド塩酸塩又はエリグルスタット酒石酸塩を投与中、重篤な呼吸不全（但し、心停止時はこの限りでない） 【原則禁忌】 妊婦又は妊娠している可能性、甲状腺機能障害又はその既往歴
	【重大な副作用】 間質性肺炎、肝炎、肝機能障害、黄疸、肝不全、既存の不整脈の重度の悪化、Torsades de pointes、心停止、血圧低下、徐脈、心不全、甲状腺機能亢進症、無顆粒球症、白血球減少 【妊婦・授乳婦】 妊婦：原則投与禁止。特に必要とする場合は慎重に投与。新生児に先天性の甲状腺腫、甲状腺機能低下症、甲状腺機能亢進症。動物：胎仔体重の低下、生存胎仔数の減少、骨化遅延。授乳婦：授乳禁止、母乳中へ移行	

6. 病原生物に対する医薬品

61. 抗生物質製剤

613. 主としてグラム陽性・陰性菌に作用するもの

6139. その他の主としてグラム陽性・陰性菌に作用するもの

薬剤名・剤型・規格・薬価	用法・用量	効能・効果・備考
<p>㊦セフォセフ静注用 Cefocef 注：1g/V IV：304.00 (沢井) [先発品] スルペラゾン静注用1g</p> <p>1バイアル中： スルパクタムナトリウム 0.5g セフォペラゾンナトリウム 0.5g</p>	<p>(注) 1日1～2gを2回に分割し静注，小児：1日40～80mg/kgを2～4回に分割し静注。難治性・重症感染症は1日4gまで増量し2回に分割，小児：1日160mg/kgまで増量し2～4回に分割。静注に際しては注射用水，生食液又はブドウ糖液に溶解して緩徐に，点滴静注に際しては補液に溶解</p> <p>【禁忌】 本剤の成分によるショックの既往歴 【原則禁忌】 本剤の成分又はセフェム系抗生物質に対し過敏症 【重大な副作用】 ショック，アナフィラキシー（呼吸困難等），重篤な腎障害，重篤な大腸炎，間質性肺炎，PIE症候群，Stevens-Johnson症候群，TEN，血液障害，劇症肝炎，肝機能障害，黄疸 【妊婦・授乳婦】 妊婦：有益性と危険性より判断，安全性未確立。授乳婦：授乳禁止，ヒト母乳中へ移行</p>	<p>β-ラクタマーゼ阻害剤配合抗生物質 【効能・効果】 敗血症，感染性心内膜炎，外傷・熱傷及び手術創等の二次感染，咽頭・喉頭炎，扁桃炎，急性気管支炎，肺炎，肺膿瘍，膿胸，慢性呼吸器病変の二次感染，膀胱炎，腎盂腎炎，腹膜炎，腹腔内膿瘍，胆嚢炎，胆管炎，肝膿瘍，バルトリン腺炎，子宮内感染，子宮付属器炎，子宮旁結合織炎。〈適応菌種〉本剤に感性のブドウ球菌属，大腸菌，シトロバクター属，クレブシエラ属，エンテロバクター属，セラチア属，プロテウス属，プロビデンシア・レットゲリ，モルガネラ・モルガニー，インフルエンザ菌，緑膿菌，アシネトバクター属，バクテロイデス属，プレボテラ属</p>

62. 化学療法剤

629. その他の化学療法剤

薬剤名・剤型・規格・薬価	用法・用量	効能・効果・備考
<p>イトラコナゾール Itraconazole ㊦イトラコナゾール内用液 Itraconazole 液：10mg/mL 39.90/mL (ファイザー) [先発品] イトリゾール内用液1%</p>	<p>(内) 空腹時投与。①200mg (20mL) を1日1回。1回200mg (20mL) まで，1日400mg (40mL) まで。②200mg (20mL) を1日1回。③イトラコナゾール注射剤からの切り替え投与として，200mg (20mL) を1日1回。1回200mg (20mL) まで，1日400mg (40mL) まで。④200mg (20mL) を1日1回。1回200mg (20mL) まで，1日400mg (40mL) まで</p> <p>【重大な副作用】 ショック，アナフィラキシー，うっ血性心不全，肺水腫，肝障害，胆汁うっ滞，黄疸，TEN，Stevens-Johnson症候群，急性汎発性発疹性膿疱症，剥脱性皮膚炎，多形紅斑，間質性肺炎 【妊婦・授乳婦】 妊婦：投与禁止。動物：催奇形性。授乳婦：授乳禁止，ヒト母乳中へ移行</p>	<p>経口抗真菌剤 【効能・効果】 ①真菌感染症：真菌血症，呼吸器真菌症，消化器真菌症，尿路真菌症，真菌髄膜炎，プラストミセス症，ヒストプラズマ症。②口腔咽頭カンジダ症，食道カンジダ症，③真菌感染が疑われる発熱性好中球減少症。④好中球減少が予測される血液悪性腫瘍又は造血幹細胞移植患者における深在性真菌症の予防 〈適応菌種〉アスペルギルス属，カンジダ属，クリプトコックス属，プラストミセス属，ヒストプラズマ属 【禁忌】 ピモジド，キニジン，ペプリジル，トリアゾラム，シンバスタチン，アゼルニジピン，ニソルジピン，エルゴタミン，ジヒドロエルゴタミン，エルゴメトリン，メチルエルゴメトリン，バルデナフィル，エプレレノン，プロナンセリン，シルденаフィル（レバチオ），タダラフィル（アドシルカ），アスナプレビル，パニプレビル，スポレキサント，イブルチニブ，チカグレロル，アリスクリン，ダビガトラン，リパーロキサパン，リオシグアトを投与中，肝臓又は腎臓に障害のある患者で，コルヒチンを投与中，本剤の成分に対して過敏症，重篤な肝疾患及び既往歴，妊婦又は妊娠している可能性</p>

採用情報はWSSにも掲載されています。(添付ファイル参照)

また，上記以外の薬品情報につきましては電子カルテの薬品情報検索または最新の添付文書をご参照ください。

以上
連絡先：薬剤科 DI 室（内線 4111）

各位

薬剤科

採用医薬品情報（5月）

2018年5月25日に開催された薬事委員会の答申に基づき、下記医薬品の採用が病院長より許可されましたのでお知らせ致します。

2399 他に分類されない消化器官用薬

一般名 商品名 (メーカー)	剤型・規格・薬価	用法・用量	効能・効果
トリアムシノロンアセトニド Triamcinolone acetonide オルテクサー口腔用軟膏 Ortexer (日本ジェネリック)	軟:0.1%-5g 1本:63.40	合成副腎皮質ホルモン剤 【用法・用量】【効能・効果】【禁忌】【原則禁忌】 【妊婦・授乳婦】 共通医薬品集 P.413 ケナログ口腔用軟膏 の項参照	
【その他の副作用】添付文書・薬品情報検索(電子カルテ)参照			

採用情報はWS Sにも掲載されています。(添付ファイル参照)

また、上記以外の薬品情報につきましては電子カルテの薬品情報検索または最新の添付文書をご参照ください。

以上
連絡先：薬剤科 DI 室 (内線 4111)